

Full Speed

月刊SEOレポート 2015年12月版

Monthly **SEO** Report

Vol.68

11月は大きな順位変動もなくアルゴリズムに関わるリリースもなかったのですが、興味深いリリースが何件かありました。

「 Android最新OSで使えるNow on Tapの提供開始 」

「 自然言語理解の強化 」

「 検索品質評価ガイドラインの正式版をGoogleが公開 」

いずれも順位には大きく関わりませんが、Googleの機能や検索結果に関連するものになり、Googleの考え方に触れられるいいきっかけでした。

なかでも、ガイドラインの正式版を読んでいて、改めてアルゴリズムに実用されるフローを振り返る機会があったので紹介したいと思います。

一般に、アルゴリズムの変更は、Googleのエンジニアが検索を改善する方法についてのアイデアを出すところから始まります。そして、データ重視のアプローチに従い、提案されたアルゴリズム変更のアイデアすべてで膨大な品質評価を実施してから、実用化に進みます。

大まかな流れを紹介します。

- 01) 検索の品質を評価するためのトレーニングを受けた評価担当者からフィードバックを取得し「精度の評価」を実施
- 02) 評価担当者に対して 新旧異なる検索結果を提示し、どちらの検索結果を良いと評価したかについて詳しく確認する「比較テスト」を実施
- 03) 一部のユーザーに対し、新しいアルゴリズムの検索結果に変更、どのように反応するかを確認する「ライブトラフィックテスト」を実施
- 04) 最後に、最も経験豊富な検索エンジニアが、さまざまなテストから得られたすべてのデータを慎重に検討し、「実用化」を判断

2011年のデータによると、「精度の評価」を実施したのが41,831件、アルゴリズムの実用に至ったのが538件でした。

SEOコンサルティング事業部

SEOコンサルタント 深井



04 検索エンジン最新トピック

10 全体的な順位変動の状況

12 Growth Seed VOICE

SEO Report

検索エンジン
最新トピック
Section 01

検索エンジン最新ニュース

検索マーケティングに関わるお役立ち情報をご紹介します。

Google

日付	タイトル	概要	詳細
11/10	Android最新OSで使える Now on Tapの提供開始	スマホ端末のホームボタンを長押しすることで、検索をしなくても画面の情報を自動分析し、ユーザーが知りたい情報や関連する操作メニューを表示する機能を追加。	P06
	http://googlejapan.blogspot.jp/2015/11/now-on-tap.html		
11/12	Google Analyticsの人気機能 トップ10などを発表	Google Analyticsの10周年を記念して、プロジェクトマネージャーであるPaul Muret氏が選んだ人気機能トップ10や機能の使用率レポートを公開。	-
	http://analytics.blogspot.jp/2015/11/happy-10th-birthday-google-analytics.html		
11/16	自然言語理解の強化	ナレッジグラフをベースに、「最上級の理解」「時間軸の理解」「複雑なクエリの理解」など、ユーザーの検索意図を理解する自然言語の強化を実施。	-
	http://insidesearch.blogspot.jp/2015/11/the-google-app-now-understands-you.html		
11/17	Google+ローカルページの機能を大幅縮小	レビュー、カテゴリ、地図、営業時間など9つの機能が終了、Google+ローカルページの利用価値が大幅低減。	-
	https://googleblog.blogspot.jp/2015/11/introducing-new-google.html		
11/19	検索品質評価ガイドラインの 正式版をGoogleが公開	検索結果の品質を評価するガイドラインが公開されました。2013年3月に簡易版が公開されてから初めて正式なものがリリース。	P07
	http://googlewebmastercentral.blogspot.jp/2015/11/updating-our-search-quality-rating.html		

Yahoo! JAPAN

日付	タイトル	概要	詳細
11/05	不動産売買プラットフォーム おうちダイレクト開始	ソニー不動産と連携し、不動産仲介会社を介することなくマンション所有者と購入検討者を結びつける不動産売買プラットフォームの運用を開始。	P08
	http://pr.yahoo.co.jp/release/2015/11/05b/		
11/24	サイバー大学とIT人財を育成 する取り組みを開始	eコマースやインターネット広告を活用できるIT人財を育成する取り組みを都内の専門学校で試験的導入。	-
	http://pr.yahoo.co.jp/release/2015/11/24a/		
11/24	Jリーグと パートナー業務提携	インターネットを活用したプロモーションやマーケティングなどのデジタルコミュニケーション領域においてJリーグと連携。	-
	http://pr.yahoo.co.jp/release/2015/11/24b/		

「Android最新OSで使える Now on Tapの提供開始」

今月のトピックス01

Android OSのバージョン6で利用できる新たな機能「Now on Tap」をリリースしました。

2015年5月に発表、10月に米国でリリース、そして2つ目の対応言語として日本での利用が可能になりました。ホームボタンを長押しするだけで、自動的に画面を解析し、次にしたいことを提示してくれる機能です。

何ができるの？

例えば……

浅草の観光ページブログを見ていた時にホームボタンを長押しすると、次にしたいことを自動に理解し、観光地や地図をサポートするカードが表示されます。



例えば……

ホームパーティーのメニューをチャットで相談しながら、「フォンデュ」のレシピを確認したい時も、チャット画面のままホームボタンを長押しすれば、クックパッドアプリでレシピや必要な食材を確認できます。



この機能が実現した背景は？

Now on Tap は、ニュースを読んでいるのか、それとも、友だちと待ち合わせの時間を決めていいのかといった、場面ごとに変わるニーズに対応するために、「ナレッジグラフ」や「自然言語の理解」そして「App Indexing」という、Google検索がこれまでに培ってきた様々な技術を組み合わせることで、適切な候補の表示を可能にしています。

「検索品質評価ガイドラインの正式版をGoogleが公開」

今月のトピックス02

Googleは、ユーザーが検索したクエリの検索結果が、関連性が高くユーザーが満足する品質かどうかを、外部の評価者に評価をさせています。その際に使われるマニュアル、ガイドラインの正式版が公開されました。評価者による結果は検索品質の改善のために役立てられており、ランキングを調整するためには使われていないとのこと。

General Guidelines

November 12, 2015

これまでの経緯

General Guidelines Overview.....	4
2008年以降：内部者によって度々161ページのガイドラインが流出	
2013年03月：43ページの簡易版ガイドラインがGoogleからリリース	5
そして今回.....	5
2015年11月：160ページの正式版ガイドラインがGoogleからリリース	5
0.6 Releasing Tasks	6

Part 1: Page Quality Rating Guideline.....

1.0 Introduction to Page Quality.....	7
2.0 Understanding Webpages and Websites.....	7
2.1 Important Distinctions.....	7
2.2 What is the Page Quality Rating.....	8
2.3 Your Money or Your Life (YMYL) Pages.....	9
2.4 Understanding Webpage Content.....	9
2.5 Understanding the Needs Met Rating.....	11
2.6 Website Maintenance.....	15
2.7 Website Reputation.....	16
3.0 Overall Page Quality Rating Scale.....	19

最新版の特徴

最新版で注目したい点は、モバイル（スマートフォン）の検索結果に関する章が追加されたことです。

「Part 2: Understanding Mobile User Needs」

「Part 3: Needs Met Rating Guideline」

ダウンロード先

Google検索サービスの「アルゴリズム」章の「検索品質評価ガイドライン」からダウンロードができます。

<http://www.google.com/insidesearch/howsearchworks/algorithms.html>



検索品質評価ガイドライン

この資料は検索品質評価ガイドラインの一部です。このガイドラインは、検索評価担当者のトレーニング資料として使用されています。このドキュメントでは、「URLの評価」と呼ばれる評価作業のタイプを中心に説明しています。この作業で、評価担当者は、検索クエリとそのクエリに対して返される可能性がある検索結果を確認します。資料に記載されている基準で、そのクエリに対する検索結果の関連性を評価します。単純な作業のように思えるかもしれませんが、熟慮すべき難しいケースが数多くあります。

[今すぐダウンロードする\(英語のみ\)](#)

「不動産売買プラットフォームおうちダイレクト開始」

今月のトピックス03

ヤフー株式会社とソニー不動産株式会社が提携し、マンションの所有者と購入検討者を、従来よりもダイレクトに結びつける不動産売買プラットフォーム「おうちダイレクト」の運用を開始しました。不動産仲介会社を介することなく、自由にマンションの売り出しを行うことができます。

YAHOO! 不動産
JAPAN

ソニー不動産

マンション流通革命、はじまる。

いまなら
特典あり!

自分で決めて、自分で売ろう。

おうち  ダイレクト

▶ 動画を見る


<https://realestate.yahoo.co.jp/direct/promotion>

不動産業界への波紋

ヤフーとソニー不動産が業務提携して新たなサービスを開始したのか・・・と流してしまいそうなニュースですが、不動産業界では波紋が広がっています。

現状、マンションの売り出し価格が適正かどうかを、購入検討者が判断することはできません。売り主と買い主の双方を仲介する仲介業者の存在があったからです。

不動産価格推定サービスの登場で、購入検討者は価格交渉のための材料を得ることになり、おうちダイレクトのようなサービスが普及していくと、上記画像にあるように「マンション流通革命」が起こることになります。

今後はリブセンスやネクスト、プロパティエージェントも不動産価格推定サービスをリリースする予定です。各社の動向が起爆剤となって新たな市場が形成されるのか非常に興味深いのですが、まだ法の整備が完全でないことから不透明な部分が多く、既存の不動産取引と共存できるのか、あるいは不動産業界の慣習を打破できるのか、注目されている市場です。

イベント情報

Webマーケティングに関わるイベントやセミナーなどお役立ち情報をご紹介します。



アドテクノロジー

アドテック東京

2015年12月1日（火）～ 2日（水） 12 : 40 ～ 18 : 50

東京国際フォーラム

<http://www.adtech-tokyo.com/ja/>



アフィリエイト

NEW

本気でアフィリエイトを学ぶ会2015

2015年12月3日（木） 13 : 00 ～ 17 : 00

T's渋谷アジアビル

<http://www.japan-affiliate.org/news/honki2015/>



アプリ

NEW

Google for Mobile

2015年12月9日（水） 10 : 00 ～ 17 : 30

パシフィコ横浜 展示ホール C

<https://events.withgoogle.com/google-for-mobile-tokyo/>



Webデザイン

Shift9: Webデザイン行く年来る年 (CSS Nite LP43)

2015年12月26日（土） 13 : 30 ～ 19 : 00

ソラシティホール (お茶の水)

<http://cssnite.jp/lp/shift9/>



EC

イーコマースEXPO 2016 東京 第9回

2016年2月16日（火）～ 17日（水） 10 : 00 ～ 17 : 30

東京ビッグサイト 西4ホール

<http://www.ecommerceexpo-japan.com/>

SEO Report

全体的な
順位変動の状況
Section 02

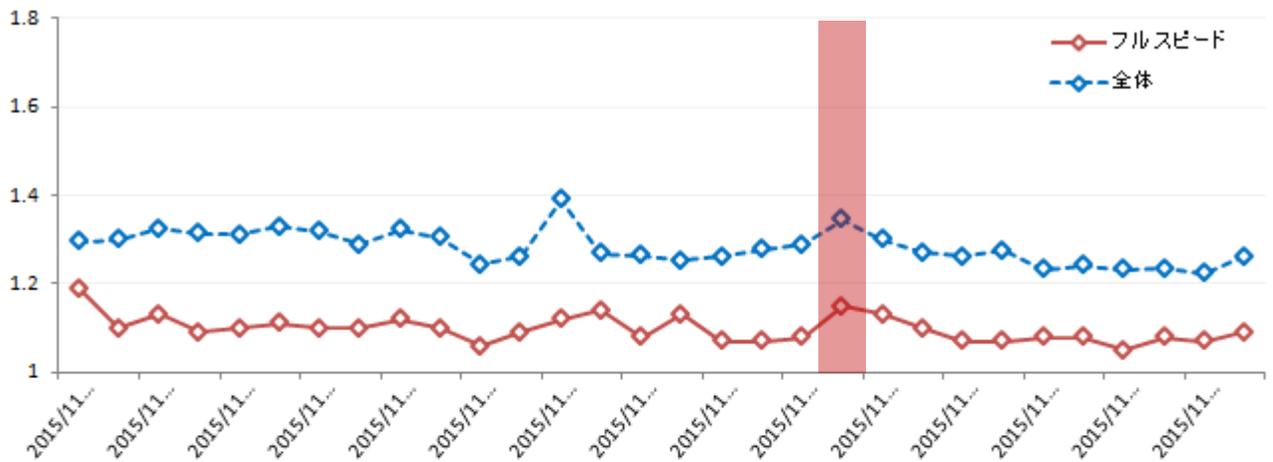
順位変動状況サマリー

2015年11月の順位変動に関するサマリーコメント

11月20日に小規模の変動を観測していますが、変動の幅が小さいことからインデックスの更新、あるいは小規模のテストが影響されているものと推測しています。順位にインパクトがある動きではありません。

直近半年間は順位に関わる大きなアルゴリズム刷新はなく、6月以降安定が続いています。米国Googleの動向をみても、PCのアルゴリズムよりもモバイル対応のニュースが多くリリースされていることから、Google内の注力事業がモバイルであることがうかがえます。

Googleの順位変動率の推移（2015/11/1～2015/11/30）



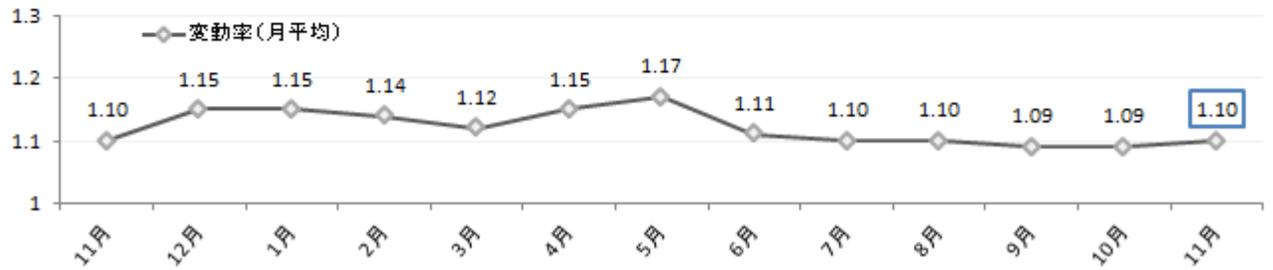
グラフの項目

全体

弊社で観測している様々なキーワードも含む市場全体の順位変動傾向

フルスピード

弊社で対策を実施しているキーワードの順位変動傾向



※変動率に使用したデータ：

上位表示される難易度に応じ、フルスピードが独自に選定しモニタリングしているビックキーワード・ミドルキーワード・スモール/複合キーワードの数千キーワードのデータを使用、独自の計算に基づき算出しています。

Googleの公式発表ではありませんのでご注意ください。

SEO Report

Growth Seed VOICE
Section 03

Growth Seed _ 最新記事紹介

当社のSEOコンサルタントやその道の専門家が発信する知識、現場で使える無料レポートの公開、毎日の順位変動状況など情報を出し惜しみすることなく、ユーザーの方に満足していただけるような専門情報をお届けしています。

サイト成長の種を贈るフルスピードSEOブログ
<http://growthseed.jp/>



11月のアップ紹介



「リード文が必要な理由と、書き方のコツ」

リード文とは、記事の冒頭部分に書き、ちょっとした挨拶や、その記事で伝えたいこと、問題提起、記事の前提となる情報などを記します。

本記事では、リード文の書き方について、なぜリード文が必要なのかにも触れながら、5つのポイントに分けて説明しています。

<http://growthseed.jp/experts/writing/lead/>

12月のアップ予告

知らなきゃマズイ！
インターネット関連
の法律



「知らなきゃマズイ！インターネット関連の法律」

一般常識として知っておかなければいけない基本的な法規、そしてサイトのジャンルや特性に応じ守らなければならないルールがあります。

知らなかったではすまされず、結果的に大きな損失を招く可能性もあります。そうならないために、

「インターネット関連の法律」について紹介する記事です。

検索結果画面の変更 _ 検索地域変更のオプションが廃止！

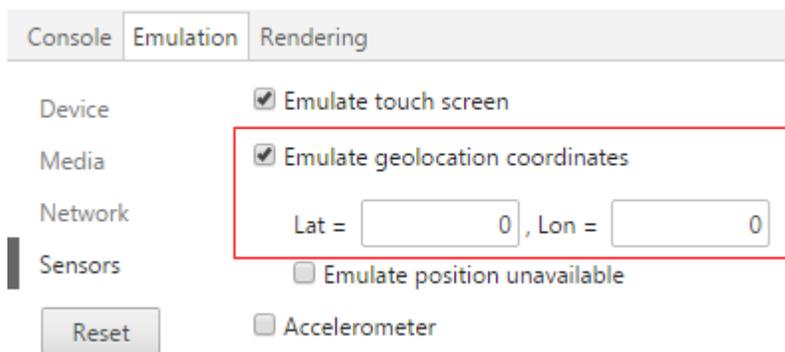
検索結果のオプションに、検索地域を設定できる機能がありましたが11月末に廃止になりました。2014年12月にリリースされたヴェニスアップデート以降、私たちのように検索を生業にしているものにとっては、地域を変えて検索することで順位の変化を観察する機会が多くありました。しかし、一般ユーザーの利用頻度が低かったことから廃止になったようです。



赤枠部分：フッター部分にある地域を変更することができなくなりました

2つの代替策

01 Google Chromeのデベロッパーツールで経度と緯度を指定



02 AdWordsの広告プレビューツールで地域を指定

広告プレビューと診断
Google で広告を検索します

以下のオプションを使って検索結果ページをプレビュー

地域

渋谷区

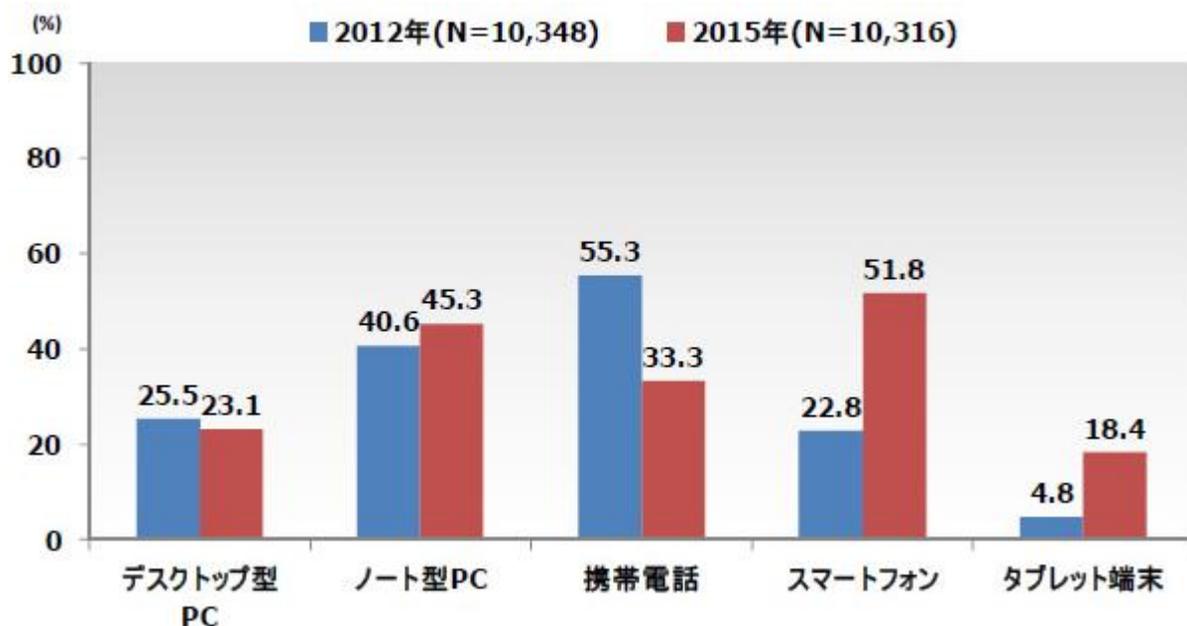
https://adwords.google.com/apt/AdPreview?__u=10000000000&__c=10000000000

特集 _ 野村総合研究所が公開！第7回「生活者1万人アンケート調査」結果

11月17日、株式会社野村総合研究所が、2015年の7～8月に全国で15歳～79歳の男女個人1万人を対象とした生活価値観や消費実態を尋ねる「生活者1万人アンケート調査」の結果を公表しました。価値の高い情報であったことから抜粋してご紹介します。

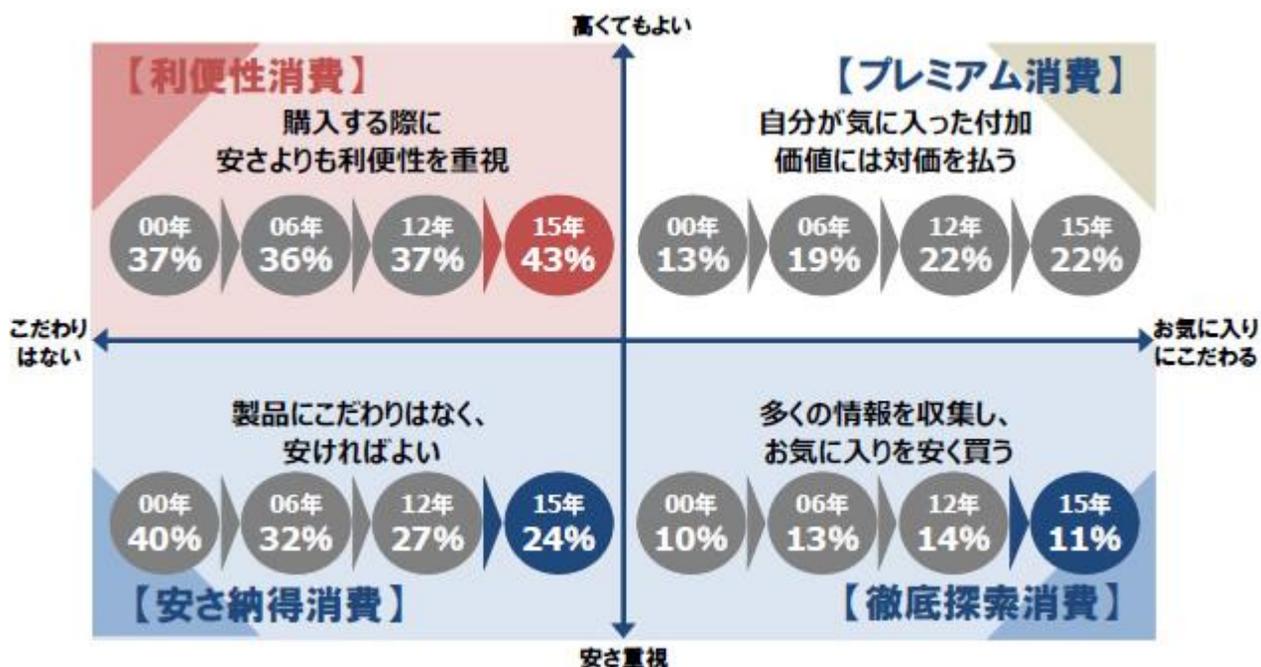
情報端末の保有状況の推移（自分で自由につかえるもの、複数回答）

スマートフォン・タブレット端末の個人保有率が急速に伸びています。



「4つの消費スタイル」分布の推移

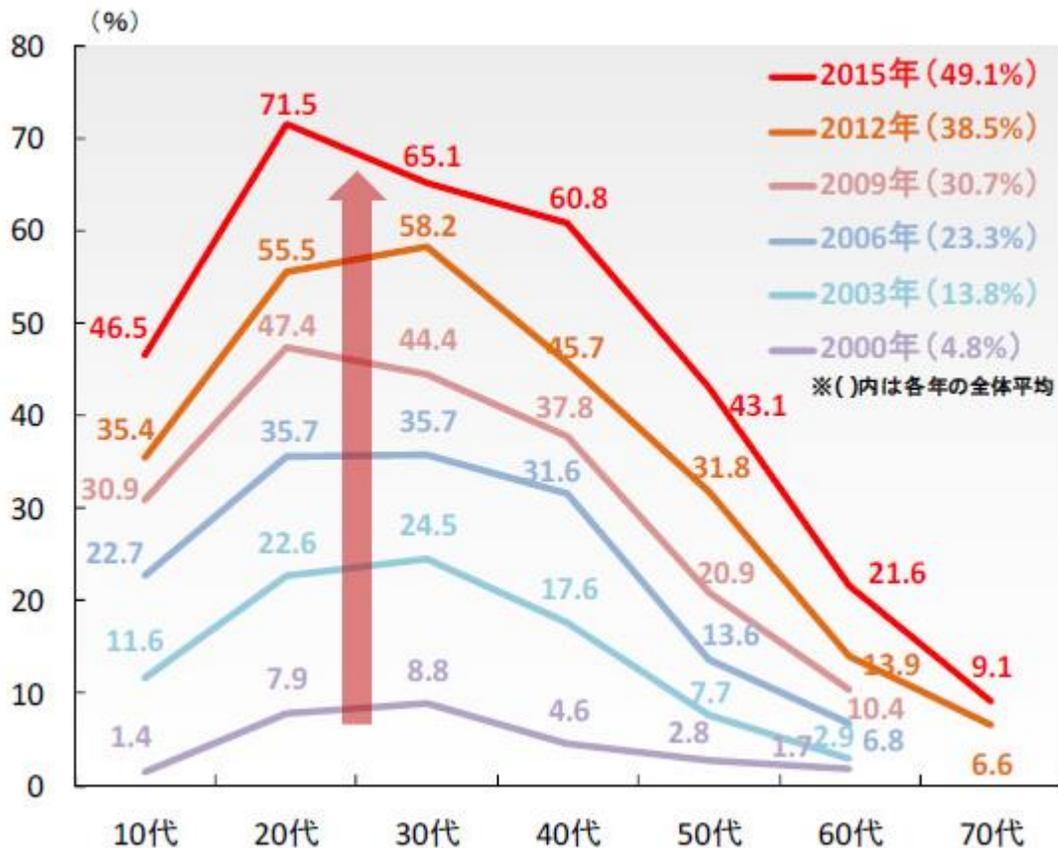
価格にあまりこだわらず便利な手段を利用して欲しいものを買うスタイルが増加しています。



特集 _ 野村総合研究所が公開！第7回「生活者1万人アンケート調査」結果

インターネット通販を利用する人の割合の推移（過去1年間での利用経験率、年代別）

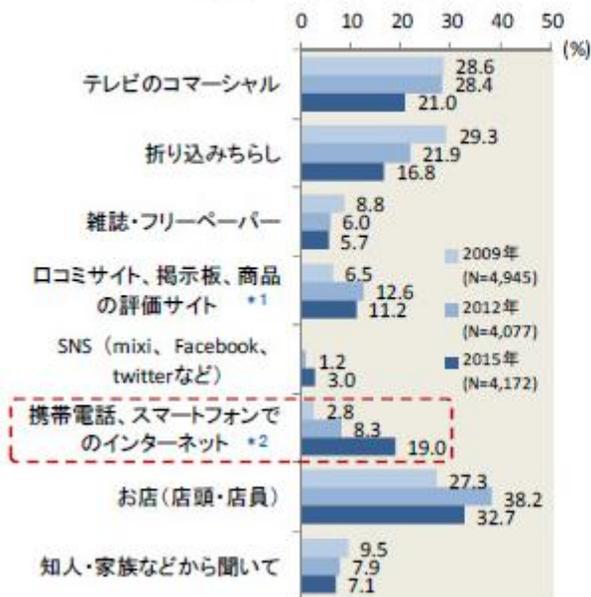
いずれの年代でも着実に拡大、特に20代で大きく増加し利用率が7割を超えました。



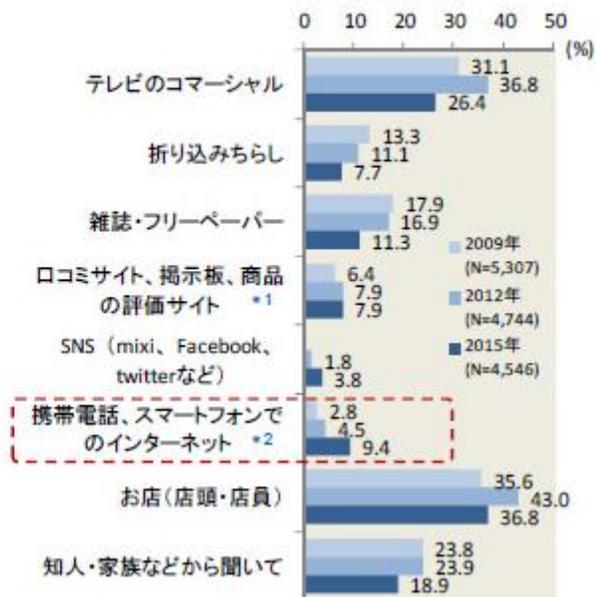
普段商品を購入する際の情報源の推移（複数回答）

携帯端末で利用するインターネットが飛躍、テレビCMやチラシなどのメディアの参照度は減少。

<男性:AV機器・情報家電>



<女性:化粧品>



参照元：株式会社野村総合研究所 https://www.nri.com/jp/news/2015/151117_1.aspx

特集 _ アドビが公開！「デジタルメディアが商品購入の決め手」調査結果

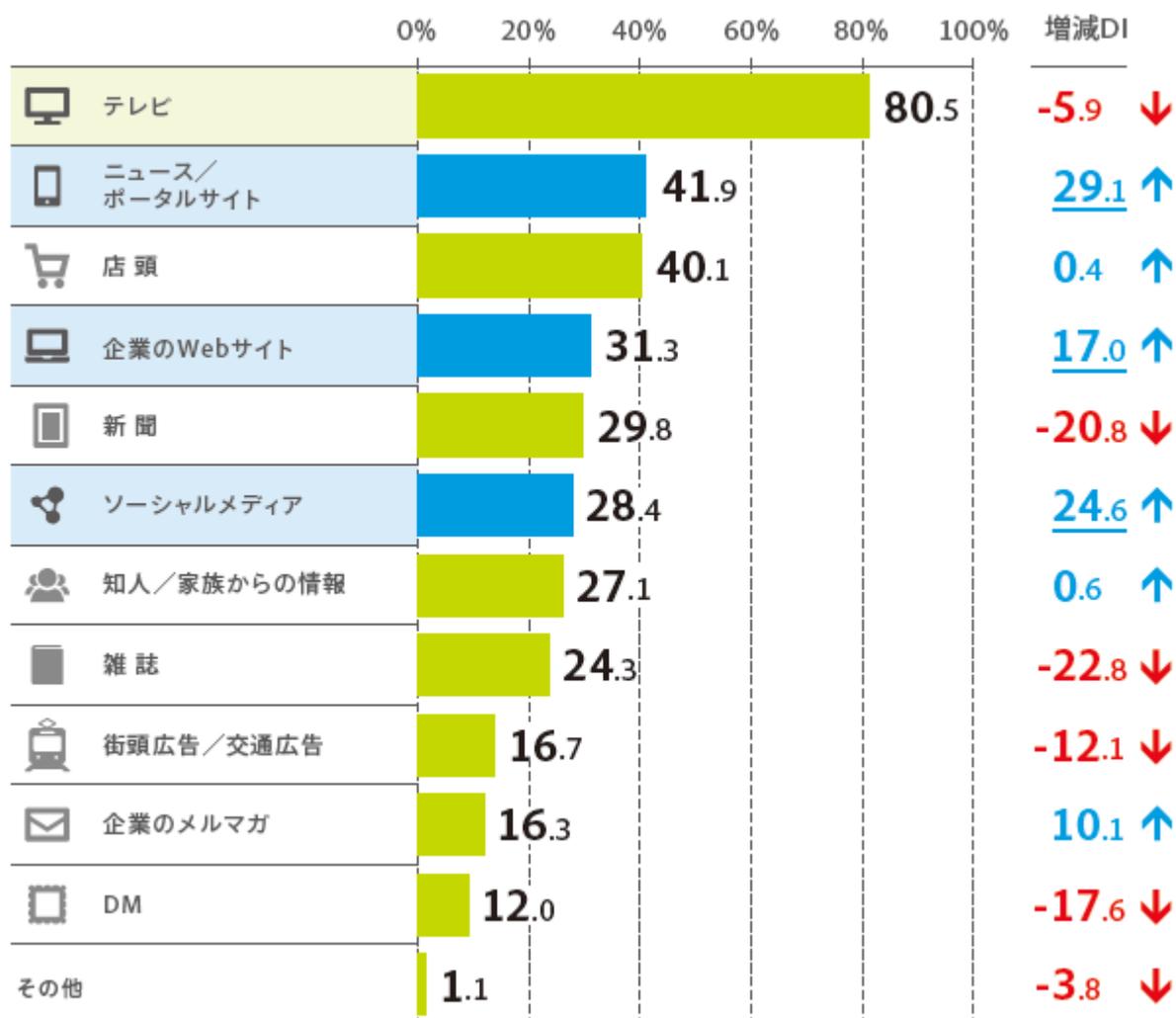
調査期間が2014年10月と古いものになりますが、前ページで紹介した野村総研のデータと遂で見ると得られる知見も深まると思い紹介させていただきます。

アドビ システムズが一般消費者を対象に行った意識調査「デジタルメディアが商品購入の決め手」のデータです。調査から見たユーザーの行動パターンから企業が取るべき戦略がえがけると思います。

商品認知のきっかけおよび、5年前と比べたメディア別増減

商品に気付くきっかけとなるメディアは、「テレビ」が80.5%に上り依然として圧倒的に強い。ただ、「ニュースサイトやポータルサイト」が41.9%、「企業（メーカーや販売店）のWebサイト」も31.3%と、デジタルメディアが認知のきっかけの上位に位置することに注目。

既に広告費では、インターネットが新聞や雑誌を抜いてテレビに次いで2位となっているが、消費者の意識の上でもデジタルメディアがテレビに次ぐ存在になっています。



n=1000

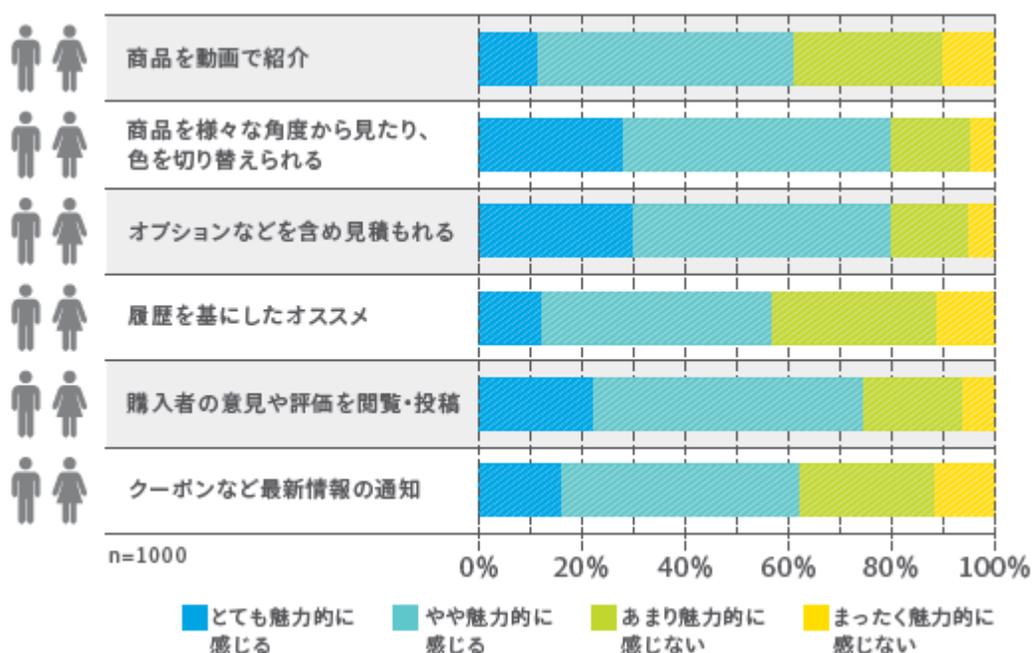
特集 _ アドビが公開！「デジタルメディアが商品購入の決め手」調査結果

Webサイトが備えていると魅力的に感じる機能

「商品を様々な角度から見たり、色を切り替えられる」

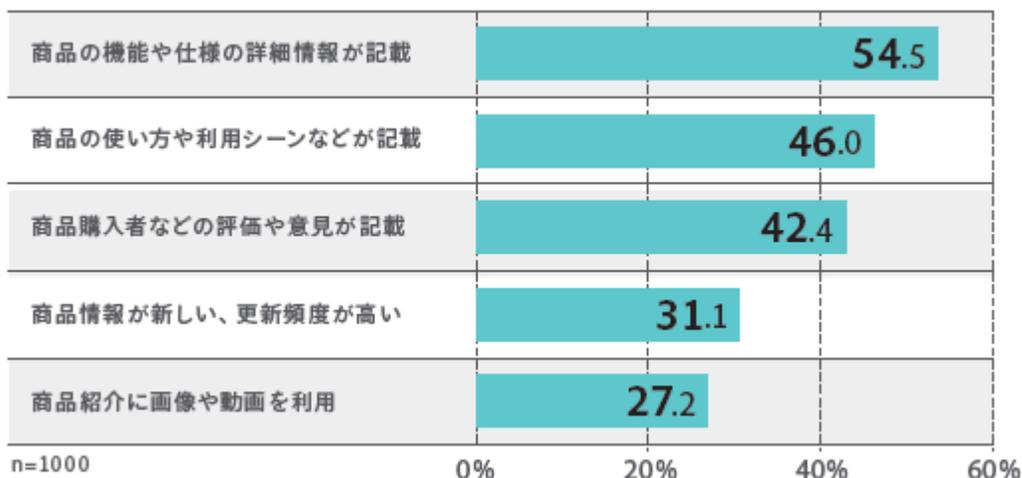
「組み合わせやオプションなどを含め、見積もれる」

といった、機能的便益、情緒的便益、あるいは自己表現的便益のような、商品のブランドパーソナリティを知ることができると、8割が魅力に感じています。



商品への関心を高めるWebサイトの情報

ユーザーはWebサイトにおいて、商品の便利さ、ライフスタイルがどう変わるかなどといったポイントを確認しに来ているということが分かります。



参照元：アドビ システムズ株式会社

http://offers.adobe.com/jp/ja/marketing/landings/_002794_discovery_consumer2014.html

月刊SEOレポート 2015年12月版

- Monthly SEO Report vol.68 -

発行 2015年12月2日

発行者 SEOコンサルティング事業部

発行所 株式会社フルスピード (<http://www.fullspeed.co.jp/>)

東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー8F

03-5457-7727

1. 当社が独自に調査した結果をまとめた2015年11月末の情報です。
2. 全体傾向をまとめたレポートとなりますので、お客様サイトの状況と合致していない内容も含まれていることをご理解ください。
3. 無断複製・無断配付・無断公開は禁止しております。



Full Speed

Ad Technology & Marketing Company